



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場会社名 日本ピグメント株式会社  
 コード番号 4119 URL <http://www.pigment.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 今井 信一  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6362-8801

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	20,807	△0.3	△41	—	△39	—	△62	—
27年3月期第2四半期	20,871	3.9	94	△29.5	101	△34.4	81	△48.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △127百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 124百万円 (△83.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△3.96	—
27年3月期第2四半期	5.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	27,971	12,413	41.0
27年3月期	27,285	12,681	43.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 11,480百万円 27年3月期 11,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	8.00	8.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,300	△6.3	330	36.4	340	42.0	160	△26.7	10.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	15,758,994 株	27年3月期	15,758,994 株
28年3月期2Q	53,084 株	27年3月期	52,502 株
28年3月期2Q	15,706,197 株	27年3月期2Q	15,709,732 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策等を背景に企業業績の改善や設備投資の増加がみられたものの、個人消費においては円安による物価上昇等により消費者マインドの低迷もあるほか、中国経済減速の影響もあり、回復の足取りは重い状況となりました。

このようななか当社グループにおいては、国内での販売は、一部の自動車産業向けは概ね予想通りに推移しましたが、家電産業向けにおいては大幅に想定を下回ることとなりました。また、東南アジア地区は域内全体で景気減速が広がり、各拠点で受注が伸び悩みました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は 20,807 百万円(前期比 0.3%減)、経常損失は 39 百万円(前期経常利益 101 百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は 62 百万円(前期親会社株主に帰属する四半期純利益 81 百万円)となりました。

#### ② 企業集団のセグメント別の状況

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

##### 日本

日本は円安が継続し、輸出関連企業を中心に企業収益の回復傾向がみられるものの、中国経済の減速や個人消費の回復の遅れ等を背景に厳しい状況となりました。

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に比較的堅調に推移しました。樹脂用着色剤部門は、国内需要が伸び悩むなか、一部の自動車産業向けやトイレタリー関連が比較的堅調に推移したものの、家電産業向け等における回復が想定には至らなかったことから、全体としては低調な結果となっております。最後に加工カラー部門は、一部の自動車産業向けや建材産業向けは比較的堅調に推移しましたが、全体としては想定までには至りませんでした。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 11,538 百万円(前期比 3.4%減)、営業損失は 104 百万円(前期営業損失 41 百万円)となりました。

##### 東南アジア

東南アジアは、中国経済減速の影響等で域内全体に景気減速が広がり、各拠点で受注が伸び悩んだものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は円安の影響もあって 8,740 百万円(前期比 4.6%増)となりましたが、営業利益は 77 百万円(前期比 41.8%減)となりました。

##### その他

その他は、中国経済減速の影響から日系自動車関連の受注が伸び悩み、当第2四半期連結累計期間の売上高が 529 百万円(前期比 6.8%減)、営業損失は 15 百万円(前期営業利益2百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は27,971百万円と前期末の27,285百万円に比べ686百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は14,313百万円と前期末の13,437百万円に比べ875百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が817百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は13,658百万円と前期末の13,847百万円に比べ189百万円の減少となりました。この主な要因は有形固定資産が192百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は15,557百万円と前期末の14,603百万円に比べ954百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は11,332百万円と前期末の10,821百万円に比べ510百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が267百万円、短期借入金が348百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定負債は4,224百万円と前期末の3,781百万円に比べ443百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が418百万円増加したことなどによるものです。また、純資産合計は12,413百万円と前期末の12,681百万円に比べ268百万円の減少となりました。この主な要因は利益剰余金が187百万円、為替換算調整勘定が131百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期における通期の業績予想につきましては、平成27年10月22日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,601,339	3,418,722
受取手形及び売掛金	6,711,353	6,548,187
製品	2,132,739	2,182,689
原材料及び貯蔵品	1,609,497	1,590,085
その他	383,048	574,253
貸倒引当金	△835	△837
流動資産合計	13,437,144	14,313,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,077,234	2,963,667
土地	3,665,603	3,645,882
その他(純額)	1,812,500	1,753,183
有形固定資産合計	8,555,339	8,362,732
無形固定資産	46,524	45,825
投資その他の資産		
投資有価証券	4,625,492	4,588,410
退職給付に係る資産	132,895	200,200
その他	501,565	474,772
貸倒引当金	△13,865	△13,865
投資その他の資産合計	5,246,089	5,249,517
固定資産合計	13,847,953	13,658,075
資産合計	27,285,097	27,971,176
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,694,369	5,961,582
短期借入金	3,876,908	4,225,320
未払法人税等	73,731	45,631
賞与引当金	197,852	234,480
その他	978,829	865,649
流動負債合計	10,821,691	11,332,665
固定負債		
長期借入金	2,608,178	3,026,298
繰延税金負債	746,097	748,242
役員退職慰労引当金	71,848	75,118
退職給付に係る負債	355,293	375,278
固定負債合計	3,781,417	4,224,936
負債合計	14,603,108	15,557,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,700	1,047,700
利益剰余金	8,104,031	7,916,128
自己株式	△15,799	△15,945
株主資本合計	10,617,091	10,429,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,074,953	1,103,131
為替換算調整勘定	220,757	89,593
退職給付に係る調整累計額	△162,153	△141,033
その他の包括利益累計額合計	1,133,557	1,051,692
非支配株主持分	931,339	932,839
純資産合計	12,681,988	12,413,574
負債純資産合計	27,285,097	27,971,176

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	20,871,858	20,807,908
売上原価	19,340,342	19,346,312
売上総利益	1,531,516	1,461,595
販売費及び一般管理費		
人件費	600,454	616,126
賞与引当金繰入額	81,091	79,598
退職給付費用	32,063	19,887
役員退職慰労引当金繰入額	9,420	9,844
その他	714,146	777,922
販売費及び一般管理費合計	1,437,176	1,503,378
営業利益又は営業損失(△)	94,339	△41,782
営業外収益		
受取利息	4,773	7,039
受取配当金	27,702	32,585
持分法による投資利益	18,256	-
その他	49,070	46,023
営業外収益合計	99,802	85,648
営業外費用		
支払利息	51,582	50,260
持分法による投資損失	-	2,130
その他	41,413	30,737
営業外費用合計	92,995	83,129
経常利益又は経常損失(△)	101,146	△39,262
特別利益		
固定資産売却益	63,276	429
特別利益合計	63,276	429
特別損失		
固定資産除売却損	16,036	895
特別損失合計	16,036	895
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	148,387	△39,728
法人税、住民税及び事業税	47,155	22,106
法人税等調整額	13,838	△6,215
法人税等合計	60,994	15,891
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87,392	△55,619
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,359	6,631
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	81,033	△62,251



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87,392	△55,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	164,650	31,693
為替換算調整勘定	△107,100	△64,975
退職給付に係る調整額	23,300	15,823
持分法適用会社に対する持分相当額	△44,053	△54,023
その他の包括利益合計	36,798	△71,482
四半期包括利益	124,191	△127,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,582	△140,601
非支配株主に係る四半期包括利益	△24,391	13,499

## (3)【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,949,824	8,353,634	20,303,459	568,399	20,871,858	—	20,871,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	102,262	—	102,262	5,393	107,655	△ 107,655	—
計	12,052,087	8,353,634	20,405,721	573,792	20,979,514	△ 107,655	20,871,858
セグメント利益又は損失(△)	△ 41,286	133,448	92,162	2,177	94,339	—	94,339

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,538,119	8,740,158	20,278,278	529,630	20,807,908	—	20,807,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	78,818	—	78,818	—	78,818	△ 78,818	—
計	11,616,938	8,740,158	20,357,097	529,630	20,886,727	△ 78,818	20,807,908
セグメント利益又は損失(△)	△ 104,211	77,611	△ 26,600	△ 15,182	△ 41,782	—	△ 41,782

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。